

# 日興ブラッククロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし)

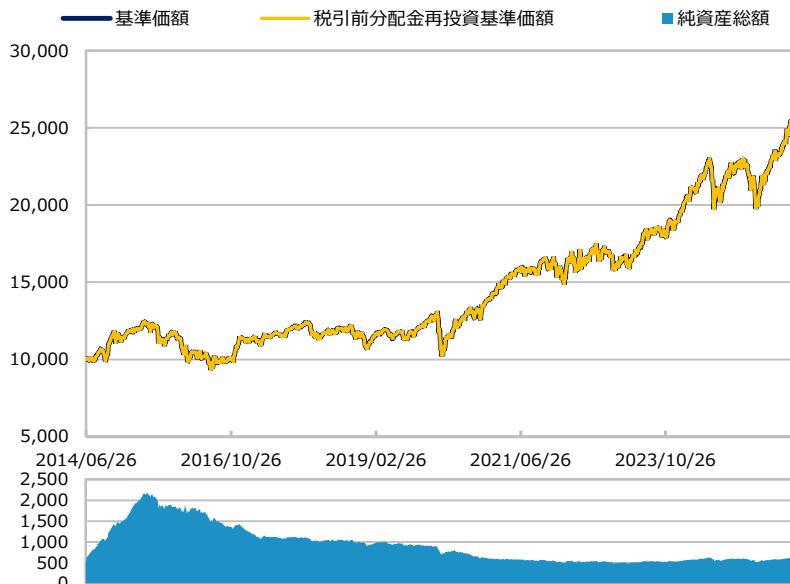
【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

ファンド設定日：2014年06月27日

日経新聞掲載名：ハイクオ無

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	25,752	+311
純資産総額（百万円）	62,523	+66

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2025/10/31	1.2
3カ月	2025/08/29	10.4
6カ月	2025/05/30	18.8
1年	2024/11/29	16.8
3年	2022/11/30	52.9
設定来	2014/06/27	157.5

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 廉落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第7期	2021/06/28	0
第8期	2022/06/27	0
第9期	2023/06/26	0
第10期	2024/06/26	0
第11期	2025/06/26	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	97.1	-0.2
マネー・ファンド	0.0	-0.0
現金等	2.9	+0.2
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「ブラッククロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド（クラスX2）」です。

※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・マーケット・マザーファンド」です。

## 運用概況

当月末の基準価額は、25,752円（前月比+311円）となりました。

また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、+1.2%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

## ■ 設定・運用

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (限定為替ヘッジ)

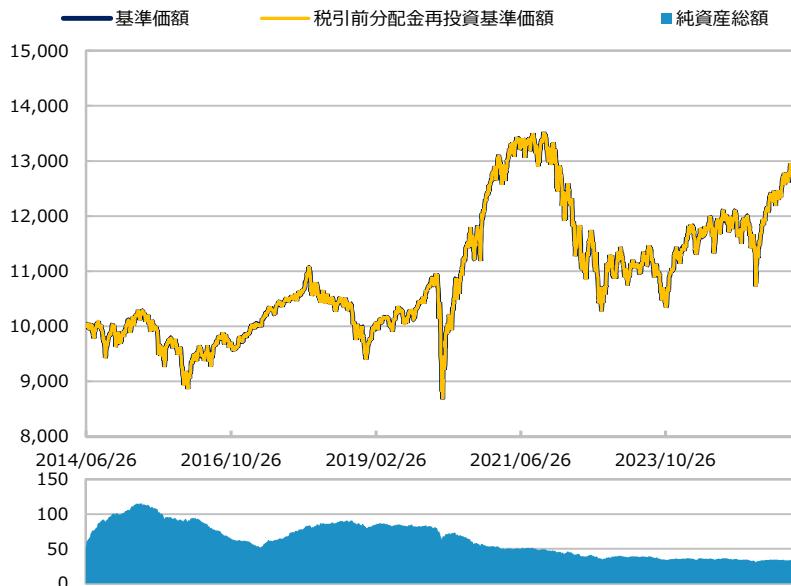
【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

ファンド設定日：2014年06月27日

日経新聞掲載名：ハイクオ限有

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	12,806	-82
純資産総額（百万円）	3,317	-34

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1ヶ月	2025/10/31	-0.6
3ヶ月	2025/08/29	2.8
6ヶ月	2025/05/30	7.2
1年	2024/11/29	7.3
3年	2022/11/30	15.6
設定来	2014/06/27	28.1

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。

■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。

■ 勝落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第7期	2021/06/28	0
第8期	2022/06/27	0
第9期	2023/06/26	0
第10期	2024/06/26	0
第11期	2025/06/26	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	98.2	-0.4
マネー・ファンド	0.0	+0.0
現金等	1.8	+0.4
合計	100.0	0.0

## 為替ヘッジ比率

99.1

-1.3

※ 組入投資信託の正式名称は「ブラックロック・グローバル・ファンズ・グローバル・アロケーション・ファンド（クラスX2）」です。

※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・マーケット・マザーファンド」です。

※ 為替ヘッジ比率は為替予約の邦貨換算額を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

## 運用概況

当月末の基準価額は、12,806円（前月比-82円）となりました。

また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、-0.6%となりました。

なお、当月末の為替ヘッジ比率は99.1%となりました。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

## ■ 設定・運用

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

## 市場動向

## MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス



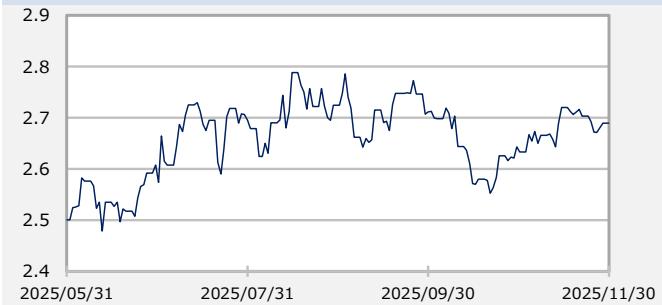
当月騰落率：0.1%

## アメリカ10年国債利回り (%)



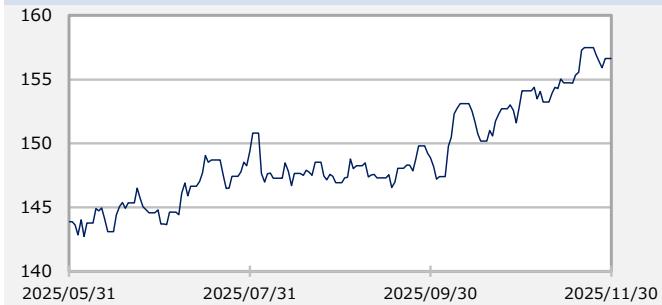
当月末：4.01% 前月末：4.08% 记者幅：-0.06%

## ドイツ10年国債利回り (%)



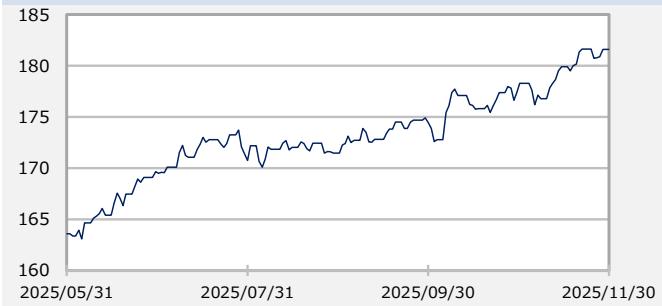
当月末：2.69% 前月末：2.63% 记者幅：0.06%

## 円/アメリカドル (円)



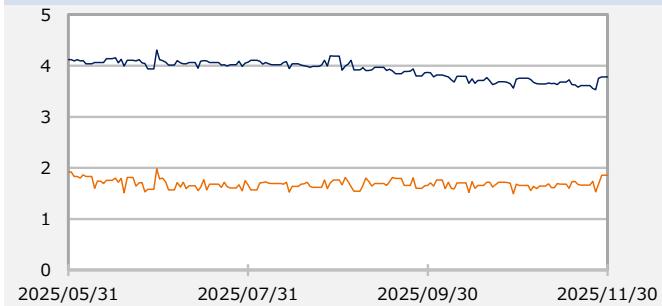
当月末：156.6 前月末：154.1 騰落率：1.6%

## 円/ユーロ (円)



当月末：181.6 前月末：178.3 騰落率：1.8%

## 為替ヘッジコスト (%)



アメリカドル 当月末：3.78% 前月末：3.75% 记者幅：0.03%

ユーロ 当月末：1.85% 前月末：1.66% 记者幅：0.20%

※ Bloomberg等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。インデックス等は注記がある場合を除き、原則として現地通貨ベースで表示しています。  
 ※ 為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）、ヘッジコストは該当通貨の対円のスポットレートと1ヵ月物フォワードレートで算出し年率換算した値です。  
 ※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

## ■ 設定・運用

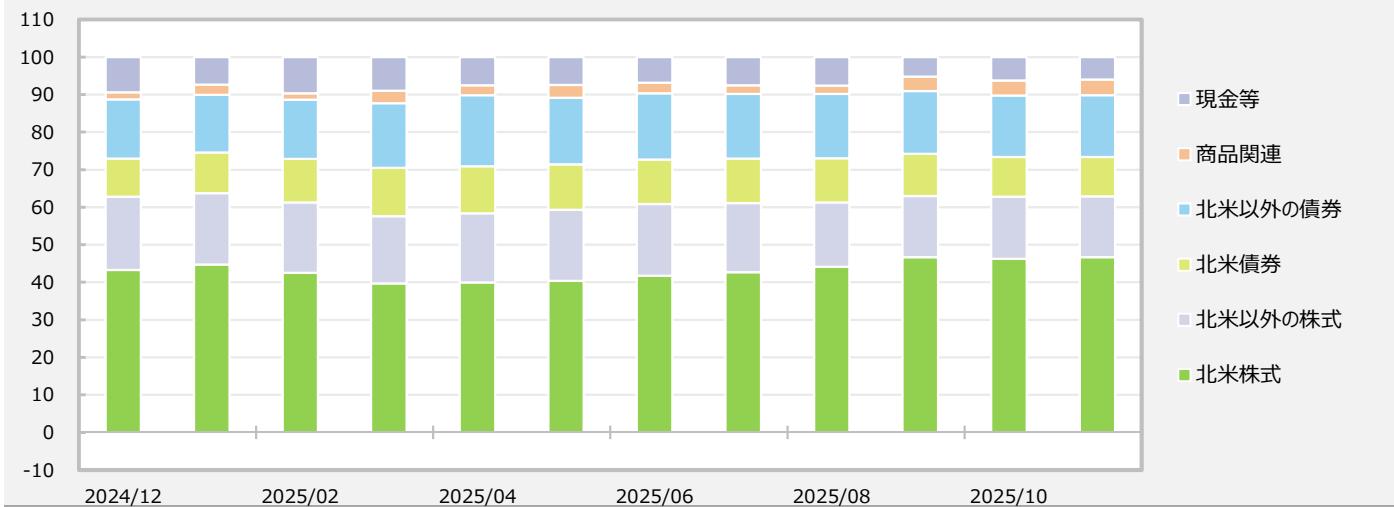
# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・ジャパン株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## 資産配分の推移（過去12カ月）（%）



## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式等	62.9	+0.0
債券	27.0	+0.1
商品関連	4.2	+0.2
現金等	6.0	-0.3
合計	100.0	0.0

## 地域構成比率（%）



## 通貨構成比率（%）



※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

### ■ 設定・運用

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

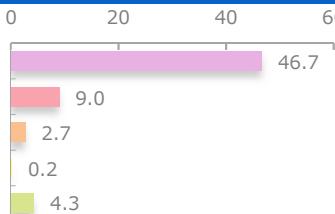
作成基準日：2025年11月28日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・ジャパン株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## 株式等のポートフォリオ内容

### 国・地域構成比率 (%)

	当月末	前月比
北米	46.7	+0.4
欧州	9.0	-0.3
日本	2.7	-0.2
アジア・パシフィック	0.2	+0.0
その他	4.3	+0.1



### 業種構成比率 (%)

	当月末	前月比
情報技術	17.6	-0.6
金融	10.5	+0.5
一般消費財・サービス	7.1	-0.1
ヘルスケア	6.9	+0.8
その他	20.8	-0.7

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

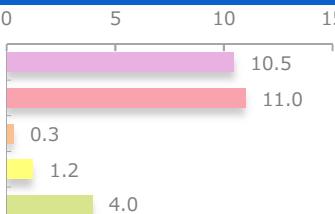
### 組入上位10銘柄 (%)

銘柄	国・地域	業種	比率
1 NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	2.6
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	2.5
3 APPLE INC	アメリカ	情報技術	2.5
4 ALPHABET INC CLASS C	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.2
5 AMAZON COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	1.7
6 BROADCOM INC	アメリカ	情報技術	1.3
7 ELI LILLY	アメリカ	ヘルスケア	1.0
8 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾	情報技術	1.0
9 META PLATFORMS INC CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.0
10 TESLA INC	アメリカ	一般消費財・サービス	0.7

## 債券のポートフォリオ内容

### 国・地域構成比率 (%)

	当月末	前月比
北米	10.5	-0.1
欧州	11.0	-0.2
日本	0.3	+0.2
アジア・パシフィック	1.2	-0.0
その他	4.0	+0.2



### 種別構成比率 (%)

	当月末	前月比
国債・政府機関債等	12.8	+0.1
転換社債	0.3	+0.1
社債	9.4	-0.1
その他	4.5	+0.0

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

## ■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント **Be Active.**

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・ジャパン株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

### ＜市場動向＞

(株式) 11月の米国株式市場は、前月末と比較して概ね横ばいとなりました。前月に史上最高値を更新していたS&P500インデックスなどの主要指数は、年内の追加利下げ期待が後退するにつれて、調整圧力が強まりました。政府機関の再開観測を受けて一旦は持ち直したもの、FRB（米連邦準備制度理事会）高官のタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的なコメントに加えて、エヌビディアの四半期決算の発表を控えて、利食い売りが優勢となりました。その後、政府機能の再開に伴い、景気や物価動向に対する安心感から月末にかけて上昇しました。欧州株式市場は、前月末と比較して小幅に上昇しました。域内景気や企業決算に明るい動きが見られた一方で、米国の年内追加利下げ期待の後退や日中関係の悪化懸念などがマイナス要因となり、米国市場に追随した動きとなりました。

(債券) 米国では、長期金利（10年国債利回り）は低下しました。上旬は、堅調な経済指標を受けて上昇したものの、中旬は労働市場の減速感やFRB高官のタカ派的な発言が交錯し、一進一退となりました。下旬は、FRB高官のハト派（景気を重視する立場）的な発言に加えて、経済指標の下振れなどから金利は低下しました。ユーロ圏では、長期金利（ドイツ10年国債利回り）は上昇しました。月前半は、米金利の上昇や強めのユーロ圏経済指標により上昇しました。その後、米金利の低下や弱めのユーロ圏経済指標を受けて上昇幅を縮小しました。月末は、ドイツの物価指標が市場予想を上回ったことから、再び金利は上昇して引けました。

(為替) 米ドル/円は上昇しました。上旬は、日本の為替介入への警戒感が意識され、一時下落する局面がありました。中旬は、FRB高官のタカ派的な発言や日本の財政悪化懸念が意識され、上昇しました。下旬は、米金利の低下から上昇幅を縮小する展開となりました。ユーロ/円は上昇しました。上旬は、日本の為替介入への警戒感から下落する局面がありました。その後、ECB（欧州中央銀行）高官のタカ派的な発言や日本の財政悪化懸念、日銀の利上げが遅れるとの観測から、上昇しました。

### ＜運用経過＞

株式の組入比率は前月と同程度に維持しました。一部投資家の選好がAI関連株から他のセクターに移る中、ボラティリティ（変動性）が高まる局面があったものの、堅調な企業決算等を好感して株価は底堅く推移しています。政府閉鎖によるデータ公表の遅れ、過剰なAI設備投資への懸念、FRBの政策スタンス等、不確実性が続く中でも、米国企業の底堅さやAIの発展による生産性向上が株価の上昇につながる可能性があると考えています。引き続き、キャッシュフロー創出力が高く、テクノロジーおよびAI分野を主導する大型グロース企業を選好します。これらの企業は、収益性が高いことやオートメーション、ソフトウェア、データインフラへの投資を通じて

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント **Be Active.**

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・ジャパン株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

更に生産性を向上している点を評価しています。その他、トランプ政権による規制緩和等の恩恵を受けると考えるヘルスケア、エネルギー、金融セクターを選好します。

セクター別では、ヘルスケアは当月最も配分が増加し、製薬銘柄を選別的に追加しました。製薬は、規制や薬価引き下げ圧力等の影響を警戒しアンダーウェイトとしてきましたが、バリュエーション（投資価値評価）の割安感を評価し、ポジションを積み増しています。その他、医療テクノロジー（メドテック）企業のオーバーウェイトは維持しており、この企業セクターは高齢化が進む人口動態や技術革新双方の恩恵を受けると考えています。一方で、情報技術は最も配分が減少しました。主に市場の調整に起因するものです。当ファンドでは、市場の調整を好機と捉え、バリュエーションが改善した半導体関連を選別的に積み増しました。情報技術の最大のオーバーウェイトは引き続きソフトウェアであり、AI普及の加速が最も強い追い風となる分野とみています。

通信サービスも情報技術同様、市場の調整により配分が低下しました。ただし、引き続き最もオーバーウェイトとしているセクターであり、建設的な見方を維持しています。主には、ライブイベント、ゲーム、インターネット、マスメディア、ストリーミング銘柄等に分散して投資しています。

地域別では、引き続き米国を最大のオーバーウェイトとし、米国以外の先進国はアンダーウェイトとしています。米国以外の先進国株は相対的に経済成長が低調になると考えるほか、欧州・日本については貿易依存度が高いことに留意しています。

債券の組入比率は前月と同程度に維持しました。ポートフォリオ全体のデュレーション（投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度）は2.1年と、参考指標に比べて小幅に下回りました。追加利下げが見込まれるため、バリュエーションを鑑みて参考指標近辺でデュレーションを維持する方針です。

クレジット資産においては、良好な経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）や歴史的に高い利回り水準を評価し、オーバーウェイトとしています。

当月は、欧州ハイイールド債の保有を一部利益確定したものの、証券化商品は安定的にインカムを獲得する目的で概ね配分を維持しています。

商品関連への配分は前月と同程度に維持しました。先進諸国の財政懸念が高まる中、金はポートフォリオの分散としての重要性を増しています。

現金の比率は前月と同程度に維持しました。当ファンドでは引き続き、現金、インカム資産、デリバティブ、金、為替などを組み合わせることで、全体的なリスクバランスの最適化を図っています。

当月末の資産構成ですが、株式は資産全体の63%、債券は27%、商品関連は4%、現金等は6%としました。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント *Be Active.*

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「ブラックロック・グローバル・ファンズ－グローバル・アロケーション・ファンド」について、ブラックロック・ジャパン株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

### ＜今後の運用方針＞

株式市場は8カ月連続で上昇となったものの、11月はAI関連株が調整するなど一部トレンドの変化が見られました。米政府閉鎖によるデータ公表の停止、情報技術セクターにおける過剰な設備投資に対する懸念、FRBの今後の利下げに対するタカ派な姿勢、米労働市場の減速懸念などが警戒され、株式市場はボラティリティが上昇しました。一方、7-9月期の米企業決算は予想を上回る結果となりました。S&P500インデックス採用企業の売上高成長率は前年比で加速しており、AIによる生産性向上を踏まえても堅調な水準となり足元、米株式市場のバリュエーションは歴史的に割安な水準ではありません。一方、大手テクノロジー企業のPER（株価収益率）は2025年にかけて低下しており、株価の大幅な上昇を上回る収益を実現できていることが確認できます。このような環境下、株式ではキャッシュフロー創出力の高い大型グロース企業、とりわけテクノロジーとAI分野をリードし、高い収益性を備えた企業に引き続き注目しています。債券では、ファンダメンタルズが良好で高いインカムを獲得できるクレジットや証券化商品を選好します。

総じて当ファンドは、成長性の高い確信度の強い株式と、安定的なインカムをもたらす債券を組み合わせ、安定性と分散性に優れたポートフォリオ構築を目指します。また、リスク許容度を踏まえ、デュレーション調整を含む多様な手段でポートフォリオ・ヘッジを行い、デリバティブ保有に加えて、一定水準の現金、商品関連資産、および為替ポジションを維持しています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

## ファンドの特色

- 主として世界各国の株式や債券など、さまざまな資産への分散投資により信託財産の中長期的な成長を目指します。
  - ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
  - 世界中のさまざまな資産（株式・債券など）、国・地域、セクターなどから、投資魅力度が高いと判断する資産や個別証券を発掘します。
  - 投資環境に応じて株式や債券などの各資産への配分比率や個別証券への投資比率を機動的に変更します。
- 実質的な運用は、マルチアセット運用に精通したブラックロック・インベストメント・マネジメント・エル・エル・シーが行います。
  - 当ファンドの運用の指図に関する権限の一部を、ブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。
- 対円での為替ヘッジの有無によって、（為替ヘッジなし） / (限定為替ヘッジ) の2つのファンドがあり、ファンド間のスイッチングが可能です。  
(為替ヘッジなし)  
米ドル建ての組入れ外国投資信託証券に対し、原則として対円での為替ヘッジを行いません。  
(限定為替ヘッジ)  
米ドル建ての組入れ外国投資信託証券に対し、原則として米ドル売り円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。外国投資信託証券を通じて保有する米ドル建て以外の資産については、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けます。  
※販売会社によっては、スイッチングを行わない場合があります。また、いずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 年1回（原則として毎年6月26日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、決算毎に分配方針に基づき分配金額を決定します。
  - 分配金額は分配方針に基づき委託会社が決定しますが、市況動向等によっては、分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

#### ■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

#### ■ 債券市場リスク

【債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です】

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしきみの違い等により、債券ごとに異なります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

#### ■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be  
Active.

# 日興ブラック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

## 投資リスク

### ■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ 為替変動リスク

(為替ヘッジなし)

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

(限定為替ヘッジ)

【為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は限定的です】

ファンドの投資対象である外国投資信託の組入資産については、原則として、当該外国投資信託の評価額とほぼ同額程度の米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行います。

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けますが、原則として対円での為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。投資する外国投資信託を通じて保有する米ドル建て以外の通貨建資産については、米ドルに対する当該資産通貨の為替変動の影響を受けます。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることがあります。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

### ■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

### ■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

### ■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be  
Active.

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

## 投資リスク

### その他の留意点

これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

### ■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント **Be Active.**

# 日興ブラック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

## お申込みメモ

### 購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

### 購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

### 購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

### 換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

### 換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

### 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

### 信託期間

2029年6月26日まで（2014年6月27日設定）

### 決算日

毎年6月26日（休業日の場合は翌営業日）

### 収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※ 販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

### 課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

### お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ルクセンブルグの銀行の休業日
- 12月24日

### スイッチング

販売会社によっては、（為替ヘッジなし）および（限定為替ヘッジ）の間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料  
購入価額に3.30% (税抜き3.00%) を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。
- スイッチング手数料  
ありません。
- 信託財産留保額  
ありません。

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）  
ファンドの純資産総額に年2.068% (税抜き1.88%)の率を乗じた額です。

- その他の費用・手数料  
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。

- 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
- 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
- 資産を外国で保管する場合の費用 等

※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

### 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

### 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 謹渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（謹渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 委託会社・その他の関係法人等

委託会社 ファンドの運用の指図等を行います。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ホームページ： <https://www.smd-am.co.jp>  
コールセンター：0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

受託会社 ファンドの財産の保管および管理等を行います。

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社 ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

投資顧問会社 ファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、投資信託財産の運用を行います。  
ブラックロック・ジャパン株式会社

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント Be Active.

# 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし) / (限定為替ヘッジ)

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2025年11月28日

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	備考										
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○									
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○			○								
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○				○								
三菱UFJ e スマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○									※1
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○									
株式会社 S B I 新生銀行（S B I 証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○				○								※2 ※3
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号	○	○			○								

## 備考欄について

※1：「日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド（為替ヘッジなし）」のみのお取扱いとなります。※2：ネット専用※3：委託金融商品取引業者  
株式会社 S B I 証券

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に遡り述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

## ■設定・運用